

担当講座で 14 回も合格率 100%を達成したプロ講師が書いた

FP 技能士 3 級 試験短期合格法

松村保誠

※当レポートの著作権は作成者松村保誠に帰属しています。
作成者に無断でのあらゆるメディア・媒体における掲載・転用は著作権法違反となりますのでご注意ください。

はじめに

このレポートでは、私、松村保誠の過去の指導経験に基づいた FP 技能士試験に短期合格するための方法論をご紹介します。

このレポートで取り上げているのは、私の担当講座で過去に何度も合格率 100%を達成している、効果実証済みの方法論ですので、是非、そのまま、あなたの学習に取り入れ、あっさりと合格の栄冠を勝ち取って下さい。

それでは次ページより、早速、具体的な方法論についてお話をして参ります。

1.日本 FP 協会か、金融財政事情研究会か。

FP 技能士試験は日本 FP 協会と金融財政事情研究会が実施しています。

どちらが良いとか悪いとかいったことはありませんので、お好きな方で受験されれば良いと思います。

ただ、両試験の出題の傾向は当然異なってきますので、

- ・日本 FP 協会の実施する試験を受験するなら、日本 FP 協会の実施する試験対策用の教材を
 - ・金融財政事情研究会の実施する試験を受験するなら、金融財政事情研究会の実施する試験対策用の教材を
- それぞれ利用するようにして下さい。

なお、金融財政事情研究会の実施する FP 技能士 3 級試験については、試験が個人資産相談業務と保険顧客資産相談業務の 2 パターンに分かれます。

現在、保険にかかわる仕事をしているとか、今後その予定があるといった事情がないかぎり、基本的に、より一般的な知識が学べる**個人資産相談業務**を選択されることをお勧めします。

(FP 技能士 1 級試験は現状、個人資産相談業務しかありませんので、1 級まで取得されるつもりの方も学習内容の関連性という点において個人資産相談業務を選択しておく方が無難です。)

ちなみに私が担当した講座はいずれも金融財政事情研究会の FP 技能士 3 級試験(個人資産相談業務) 対策講座として実施しています。

私、個人の好みであって特に深い意味はありませんが。

金融財政事情研究会の試験申し込みページはこちら。

<http://www.kinzai.or.jp/internet>

※FP 技能士試験の申込期間は、試験が年に 3 回も実施されることもあり、やや短めです。早めにホームページ等で確認し、遅れることがないように申し込みを行ってください。

2.利用する教材

以下のものを利用するようにして下さい。

- ・スッキリわかる FP 技能士 3 級 (TAC 出版)
- ・スッキリとける 過去+予想問題 FP 技能士 3 級 (TAC 出版)

残念ながら、この 2 つの教材は、アマゾンのレビューなどを見る限り、さほど人気が高いわけではありません。

おそらくは情報量において、圧倒的に他の教材から見劣りするからです。

下手をすると一般的なテキストの情報量の 3 分の 1 ぐらいのことしか掲載されていないかもしれません。

しかし、FP 技能士 3 級に合格するということが目的なのであれば、この情報量で十二分です。

私に言わせれば、このテキストの執筆者以外は、テキストに掲載する内容を合格に必要な重要知識に絞らざるを得ないに過ぎないと思います。

いずれにしても、単純に考えてもこれらの教材を利用するだけで、試験合格に必要な労力を他の教材を利用する場合の 3 分の 1 程度に軽減することができるわけですから、迷わず、これらの教材を利用するようにして下さい。

※教材を購入する際には必ず、試験の対応年度を確認するようにして下さい。

FP 技能士試験では毎年のように非常に多くの改正がなされるため、古いバージョンのものでは、修正をたくさんしなければならないことになります。

3.具体的な学習の進め方

FP 技能士 3 級に短期合格するための学習は具体的には以下のような手順で進めていきます。

- ①テキストを読む。
- ②問題集を読む。
- ③.問題集を解く。
- ④問題集を消す。
- ⑤覚えきれなかった問題を丸暗記する。

はい、基本的には宅建試験の学習の手順と同じですね。

この手順は全ての資格試験の攻略に使えるのです。

それでは以降、各ステップについて少し詳しく見ていきます。

- ①テキストを読む。

まず、基本事項を学ぶためにテキストを一通り、読み通すようにします。

あまり細かいことを気にせず、8割程度の理解を目標にスピード重視で読み進めるようにして下さい。

読む回数は2回程度で十分です。

理解の状況に応じて、3回程度、読み通してみるのには構いませんが、テキストだけを何度も読んでも合格するのに必要な学力が身に付くことはありませんので、多くても3回程度まで止めて、次の学習ステップに進むようにして下さい。

なお、この段階でテキストの内容を暗記しようとする必要は全くありません。

あくまで大体の内容が理解できれば OK です。

もちろん、理解した結果、自然に覚えてしまうのは一向に構いませんが。

②問題集を読む。

問題集を解くのではなく、問題・解説の順番で読んでいきます。

つまり問題集をインプット用の教材として利用するということです。

問題集を読む学習は、試験で問われる可能性の高い重要論点について集中的にインプットすることになり、非常に学習効率が良いのです。

また、問題がどのように出題されるのかといった出題のパターンを熟知する効果も期待できます。

いきなり、問題を解こうとするより、まずは問題集を読む学習から始める方がストレスがなく、結果的に以降の学習もスムーズに進むようになりますので、是非、問題集を読む学習から始めるようにして下さい。

なお、問題集を読んでいて不明な点が出てきた場合には、必ず、テキストで該当箇所を確認するようにして下さい。

テキストに出ていないことについては、Google で検索して頂ければ結構です。

3 級試験に出てくる程度の内容なら、ほぼ例外なく、Google で検索するだけで解決できます。

ただし Google で検索して調べる際には必ず、ウィキペディアのようなオーソリティサイトか、サイト運営者の素性が明らかなサイトの情報を利用するようにして下さい。

インターネット上の情報は必ずしも正確なものばかりではありませんので。

③問題集を解く。

問題集を解くステップで重要なのは、絶対に解きっぱなしにしないということです。

単に正誤判断ができるかどうかを確認するだけでなく、**端的にその根拠を指摘することができるかどうか**を確認し、根拠の指摘ができなかったものについては、改めてその場で解説をしっかりと読み込むようにして下さい。

なお、いったん、この学習ステップに入っても、正解率が 8 割を切る場合には、躊躇なく、問題集を読む学習ステップに戻るようにして下さい。

その方が結局、早く合格できるレベルの学力を身につけることができるからです。

※FP 技能士試験の問題集では、1 冊の問題集の中に日本 FP 協会の試験対策用の問題、金融財政事情研究会の個人資産相談業務用の問題、同じく金融財政事情研究会の保険顧客相談業務用の問題が混在していることがよくあります。

本レポートで推薦している問題集もそのようになっています。

この場合、自分が受験する試験の対策用の問題だけをやって頂ければ結構です。

それ以外の問題を学習してもあまり意味がありませんので必ず、省いて学習するようにして下さい。

4.問題集を消す。

本試験の 2 週間ぐらい前から、本試験まで見返さなくても、忘れないという自信がある問題を消していきます。

こうすることによって、まだ完全にマスターできていない問題だけを集中して学べるようにしていくわけです。

なお、問題を消す際には、視覚的にもその問題をマスターしていることが認識しやすいように、番号だけに小さく×印をつけたりするのではなく、問題全体に大きく×印をつけるようにして下さい。

5.覚えきれなかった問題を丸暗記する。

本試験の前日から当日にかけて、まだ消せていない問題を丸暗記しながら消していきます。

全ての問題を消し切ることができれば、問題集を完全にマスターすることができたという

こと。

一冊の問題集を完全にマスターすることができれば、あなたの実力は100%合格レベルに到達することができているはずです。

あとはその実力を存分に発揮するのみですので、自信を持って試験に臨んで下さい。

以上がFP技能士3級に短期合格するための学習の手順になります。

言われてみれば、当たり前の内容に感じられるかもしれませんが、この手順をしっかり意識できているか、できていないかで、学習の効率に雲泥に差が生まれることとなります。(本当です！)

学習効率を高めるためにも、しっかりとこれらの手順を意識して実践するようにして下さい。

4.学習上の注意点

①理解することを心がける。

FP 技能士試験のように試験範囲が広く、また、専門的な内容を多く含んでいる試験では、丸暗記的な学習で対処することは非常に困難です。

そのため、常に理解するということを心がける必要があります。

理解しようとする、その理解しようとする行動の痕跡が、フックとなり自然に記憶することができますので常に「理解する」ということを心がけるようにしましょう。

なお、学習していてどうしても理解しにくいことが出てきた場合には、次の 2 点を確認してみてください。

①意味がよくわからない単語等はないか？

単語の意味が曖昧なままだと、その結果として文章の意味が掴めないこととなります。

なお、単語の意味を調べる場合にも Google で検索して頂ければ結構です。

②文章の構造は把握できているか？

どんな文章も主語と述語が明確になっていれば、全く意味がわからないということはないはずです。

ですので、難解な文章が出てきた場合には、まずは主語と述語が何であるかをしっかりと確認するようにしてみましょう。

これら 2 点のことを意識すれば、ほとんどの学習事項を理解できるはずです。

なお、ここまでやってみて理解することができないのだとしたら、より基礎的なことが理解できていない可能性が高いです。

ですので、あらためて、より基礎的な事項から学習し直してみることをお勧めします。

※なお、理解することができない個所があまりに多い場合、そもそもの社会的な素養のレベルが低すぎることが考えられます。

これは決して頭が悪いということではなく、ニュース番組を見たり、新聞を読んだりすることが少なすぎるという意味です。

この場合には、はっきり言って独学で合格するのは難しいと思います。

無理とまでは言いませんが合格するのに必要な労力が大きくなりすぎるのです。

楽に合格することを重視するなら、講座等を利用することを検討してみることをお勧めします。

②突っ込み過ぎない。

どうしても理解できないことについては、ある程度のところで「見切る」ということも大切です。

理解できないことにこだわりすぎて、すんなり理解できるような個所の学習が不十分になってしまうようでは、試験に合格することは困難になるからです。

特に金融資産運用設計などでは数学的なセンスがないと理解できないことも出てきますので、そういった事項については、あまり深く考えすぎず、必要に応じて、そのまま覚えてしまうようにしましょう。

FP 技能士 3 級の試験はしよせん、三肢択一式で 6 割とれば合格できる試験です。

そのあたりのことを考慮に入れて、楽に得点できるところで確実に得点することを心がけましょう。

③計算問題はできるだけ実際に電卓で計算する。

FP 技能士 3 級の試験では、それほど難しい計算問題が出題されるわけではありません。

しかし、それでも計算問題については実際に電卓で計算するということを繰り返しやってみるべきです。

計算問題については、実際に何度も計算の段取りを実践してみることが、実力をつける上で近道だからです。

なお、数学等がもともと苦手な計算問題と聴くとそれだけで逃げ出したくなるような方がいらっしゃるかもしれませんが、楽に合格したいなら計算問題からは決して逃げたはけません。

FP 技能士試験の計算問題は、出題パターンが、ほぼ決まっています。

そのため、しっかりとした対策を行っておけば、確実な得点源としやすいのです。

実際、私の講座の受講生たちもほぼ例外なく計算問題を得点源とすることに成功しています。

ですので、あなたも計算問題をしっかりと学習して得点源とし、合格をより確実なものとして下さい。

最後に

当マニュアルの内容は以上となります。

非常に短いので驚かれたかもしれませんね。

しかし、本当に大切なポイントというのは、往々にして、そんなに多くはないものなのです。

もちろん、細かいことを書こうと思えばいくらでも書くことはありますが、あえてそれは致しません。

それをすると本当に大切なことがぼやけてわからなくなってしまうからです。

たった、これだけのことをしっかりと肝に銘じて頂ければ、驚くほど楽に合格することができます。

ですので、安心してこのマニュアルの内容にしたがって学習を進めて下さい。

それでは、あなたの FP 技能士 3 級試験合格を心より祈念しております。

最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。

発行者

スマート・ライフ・コンサルティング 松村保誠

連絡先 ; yasusei71@gmail.com